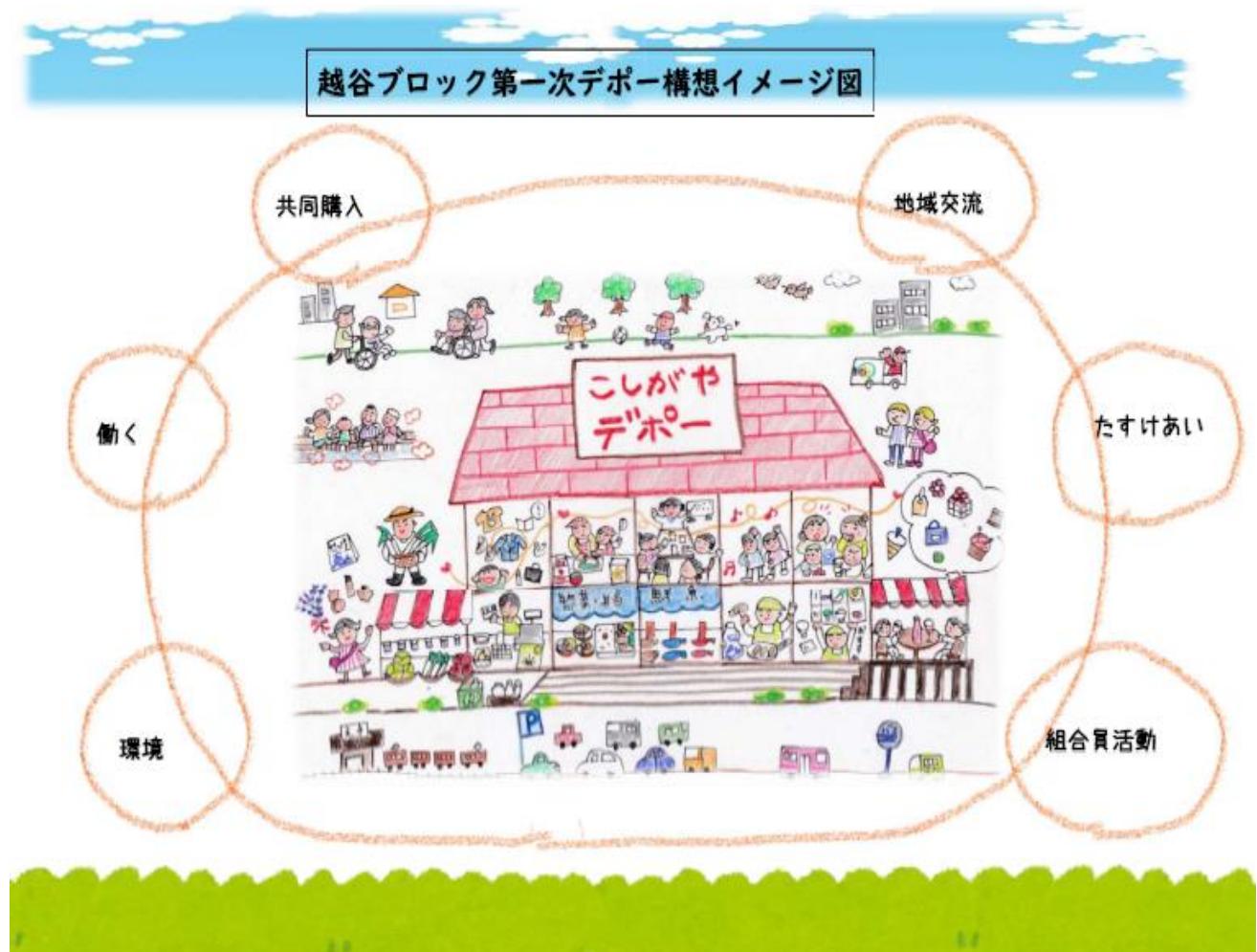


越谷第1次デポー構想（案）



〈はじめに〉

私たちは生活クラブが大好き

なぜ好きなのか・・食の安全を追求し、不必要的添加物は使わない、遺伝子組み換え作物はNO!、生産者と対等互恵の関係にあり、国産自給率、環境を壊さないことをとことん追求しているから。

私たちの仲間づくりの活動は、そんな生活クラブの思いに共感してくれる人を増やすこと。

安心安全な食を！と叫ばなくてもそれが普通の世の中になれば、私たちの活動は大成功です。

そんな世の中にしていくために、デポー建設は生活クラブの思いを知ってもらう、良いきっかけです。

デポー建設にあたり、何を大切にしたい・・の応えに、仲間づくり、人と人の繋がり・・楽しく！など声が上がりました。

デポー建設は簡単なことではありません。1000人の新しい仲間が必要です。新しいことを始めるのは大変だけど、どんなお店にするか、何を企画するか・・一つ一つ重ねながら、生活クラブを知る人が増えていく。わくわくドキドキします。

さあ、みんなでわくわくドキドキしましょ！

1.なぜデポー事業に取り組むのか

2017年6月の総代会において「デポー事業の取組について」が承認され、埼玉単協でのデポー建設に向けて扉が開かれました。

総代会の承認を受け、越谷ブロック内で検討した結果、2019年1月「越谷デポー建設準備委員会（現在10名）」を立ち上げ、議論を重ねて、この1次構想をまとめました。

デポーは、今ある共同購入システムでは生活クラブの消費材を利用しにくい人が購入できる場所、地域で顔の見える関係をつくりたい人、できる範囲で働きたい人など、たくさんのやりたいを実現できる場所になると考えています。

デポー建設で組合員が増えれば「まち」が変わる。「まち」が変われば社会が変わります。おおぜいの組合員やワーカーズ・生産者、地域の人たちとの様々な出会いから、新たな可能性が生まれます。さらに、説明会などを通して地域の組合員の意見を反映させ、最終構想を作り上げ、越谷らしいデポー開所を目指します。

〈なぜ越谷いちご支部に作るのでしょうか〉

デポーを支える組合員の組織率や子育て世代の人口動向等を勘案して、越谷ブロック内では越谷いちご支部が最も適した地域と選定されました。活動できる組合員の余力がある今が、デポーに取り組める機会でもあります。

〈越谷生活館、くらぶメゾン越谷、くらぶルーム遊について〉

この構想の中心エリア内には、「越谷生活館」「くらぶメゾン越谷」「くらぶルーム遊」があり、地域に根差し組合員の情報交換の場所であり、交流・仲間づくりの大切な居場所でした。なかでも越谷生活館は、ホール・会議室・調理室・駐車場を備え、永年にわたり組合員活動の柱として、大切に利用されてきました。しかしながら、元配送センター（越谷センター完成 1984.11月）のため、奥まった立地であり「誰もが気軽に利用できる場所」とまでは認知されませんでした。以前は毎曜日の利用があったサークルも、新しいメンバーが入らず、登録数が減り、生活クラブ説明会を行っても、サークル利用者からの加入はほとんどなくなりました。

生活館の1Fくらぶメゾン越谷結の組合員も200名を前に足踏み状態が続き、2018年10月からの個別低額利用者手数料導入で一時増えたとしても、結組合員の高齢化により、個別への移動も増えてくると予想され、人通りの少ない今の立地条件では、目標の結組合員300名にはほど遠いのが現状です。

現在、生活館の管理は、W.Coたのしい輪に委託していますが、築34年の建物は水回りや空調等の不具合も増え、今後、維持・管理が生活クラブや支部にとって、重荷になることも十分考えられます。また、

専業主婦という言葉が死語になりつつある今、組合員のライフスタイルの変化で、限られた組合員の活動の場になり、支部活動の担い手がなかなか現れません。

これから支部活動をどう進めてゆくのか、次の世代へどうバトンを渡せるのか、話し合いを重ねるなかで新たな拠点の形として、デポーを選びました。1080名のいちご支部組合員の力を分散させるのではなく集中して行きたいと考えます。以上の状況を考え、越谷いちご支部としてはデポー構想を進めため、生活館・くらぶメゾン越谷の果たしてきた役割を一区切りとし、デポー建設に新たな可能性を期待し活動を進めることとしました。

2. デポーコアエリアの提案

①建設スケジュール

2021年6月開所のため2020年の年末まで物件決定を目指します。

②デポーコアエリア

デポー建設地半径1.5kmをコアエリアとして、仲間づくりを中心的に行うエリアです。越谷ではスカイツリー線沿線のエリアと東越谷のエリアを提案します。エリアを限定せず、良い物件の出現で決めます。

デポー建設には人や資金、購買力の集中が必要です。組合員が好きな時にいつでも購入できるデポーへの移籍希望を前提としたコアエリアを提案します。

○スカイツリー線沿線

スカイツリー線の越谷駅周辺から蒲生駅までの沿線東西をコアエリアとします。この内側が建設地となり、越谷駅及び新越谷駅0.5km以内、もしくは日光街道（旧4号）、赤山通り（十全病院の通り）などのロードサイドが望ましい立地です。駅周辺は「都市型」と位置づけ徒步・自転車の来所、ロードサイドでは駐車場を確保した建設プランとなります。このエリアには130名の組合員が結に在籍しています。

○東越谷エリア

東越谷及び花田周辺をコアエリアとした地域です。スカイツリー線沿線のエリアと重なります。建設立地は産業道路・市役所駅前中央通りのロードサイドに限定されます。このエリアは駅から離れているため「郊外型」と位置づけ、自家用車の来所を想定した建設プランです。このエリアには160名以上の組合員が結に在籍しています。

コアエリアマップ



3.越谷デポーで取り組みたいこと

① デポーは店舗型の共同購入です。

- ★デポーは店舗形式の『大きな共同班』。新たな共同購入の仕組みです。
- ★デポーは、東京・神奈川・千葉の生活クラブで30年以上の実績があり、現在、41店舗を展開しています。
- ★デポーは組合員のみ利用することができます。
- ★自分の都合に合わせて消費材が購入できます。
- ★消費材を実際に見て購入ができます。
- ★小分け販売、化粧品のお試しをすることもできます。
- ★生産者交流会、献立の提案、試食、料理講座を開催します。



② デポー独自の消費材を開発します 地域の活性化も！！

- ★デポーはカタログ取り組みの消費材はもちろん、市場直送の鮮魚など、デポー独自の消費材を取り扱います。
- ★地場野菜、お惣菜、パン、雑貨なども検討します。
- ★生活クラブの消費材を使い、食品ロスに考慮したインストアリ(惣菜)に取り組みます。



③ コミュニティ・スペースを作り、 情報を発信します。

- ★「食の安全」「地域交流」「環境」「たすけあい」をテーマとした学びができる場所を作ります。
 - ★支部活動、組合員交流ができる場所を提供します。
 - ★R びんや牛乳キャップを回収して再利用します。
- <越谷デポーにあつたらいいな>
- ★調理台のあるキッチンスペース。
 - ★組合員が集まる、助け合える場(丁ハウス)。
 - ★イートイン・キッズスペース。
 - ★地域協議会、市民団体、地域サークル、子育て世代等との交流の場。
 - ★イベント等への参加。
 - ★介護食等の総菜販売やお弁当の配食。
 - ★エコバックや不用品のリサイクルコーナー、傘の貸し出し。
 - ★生活クラブ電気の紹介コーナー。
 - ★地域の情報コーナー。

④ 班・個配組合員はいつでもデポーを 利用できます。

- ★班・個配組合員がデポーを利用するためには「デポー利用登録」が必要です。デポーカードを配布し、今まで通り口座引き落としができます。
- ★班・個配組合員は、配達とデポーを併用できます。



⑤ デポーを運営するのは デポー組合員です。

- ★デポー組合員はデポーのみ利用する組合員です。
- ★デポー大会を開催し、活動方針をデポー組合員が決定します。デポー運営はデポー運営委員会で行います。
- ★デポー組合員は班・個配組合員と同様に『出資・利用・運営』を担い、積立増資、エッコロ制度、生活と自治の取り組みを行います。
- ★組合員がデポー事業に参加するワークシステムを検討します。
*ワークシステムとは、デポー内の簡単な作業を組合員が担い、削減された経費の一部を参加した組合員へ還元するシステムです。



⑥ デポーの業務は「ワーカース・コ レクティブ」が担います。

- ★デポーの業務は組合員を主体としたワーカースが担います。内容はデポー業務全般と組合員活動のサポートです。
 - ★自分たちで働きやすい職場環境を作ります。
- *ワーカースとは、働く人が自分たちで出資・経営・管理し、労働も担う協同組合のことです。組合員を中心に組織され、自分たちで働き方を決定します。



4. デポー建設の進め方

① 越谷いちご支部及び越谷ブロック

- ・2019年3月越谷いちご支部大会にて、「越谷いちご支部としてもデポー事業をすすめていく事が望ましいと考え、デポー事業を越谷ブロックとともに推進していく」ことを承認しました。 デポー事業取組が承認されました。
- ・越谷いちご支部は、越谷ブロックの協力のもと、越谷デポー建設準備委員会とともにデポー建設準備にとり組みます。

② 越谷デポー建設準備委員会

- ・越谷デポー建設準備委員会を2019年4月に立ち上げ、越谷いちご支部及び越谷ブロック内の組合員に対し、デポー事業について認識を広げ、デポー建設の主体者や協力者を増やす。
- ・デポー1次構想を作成し、説明会、組合員訪問、広報紙配布等を通じて、おおぜいの声で紡ぐ越谷デポー最終構想を作成し、越谷いちご支部及び越谷ブロックに提案を行う。

③建設準備のスケジュール（建設準備委員会以前の取り組みも含む）

時 期	支 部	建設準備委員会の対応 説明会、広報、デポー応援隊
2018 年 3~6 月	・デポー建設検討委員会のメンバーとしてデポー建設の取り組みを検討した	・デポー建設検討委員会にてデポー建設を検討し、デポー建設に向け設置準備をすすめることとした。 ・ブロック内の拠点にて、デポー説明会を実施し、意見交換を行った。
2018 年 7 月～ 2019 年 2 月	・デポー建設推進委員会のメンバーとしてデポー事業を取り組むことを決定 ・支部運営委員会にてデポー建設準備をすすめることを決定した	・デポー建設推進委員会にてデポー事業取組みに向け、支部及びブロックと協力してすすめていくこととした。
2019 年 3 月	・越谷いちご支部大会にてデポー事業に取り組むことを決定	・デポー建設準備委員会設置 ・デポー買い物ツアー実施 ・配達同乗呼びかけ実施 ・デポーニュース発行(以降毎月発行)
2019 年 3~5 月		・デポー建設準備委員会発足 ・デポー買い物ツアー継続 ・デポーに関するアンケート実施(4~5 月)（結果は P7 参照）
2019 年 6~7 月	・デポー第 1 次構想(案)の承認(7 月度越谷いちご支部) ・デポー第 1 次構想(案)の提案(7 月度理事会)	・デポー第 1 次構想(案)を作成
④ 2019 年 8~10 月	・説明会の実施協力 (ブロック内の全支部へ説明会の実施)	・デポー第 1 次構想をもとに組合員討議を実施 ・説明会及び組合員訪問、ミニデポーを越谷いちご支部組合員を中心に越谷ブロック内で実施。 ・デポーわくわく隊(建設応援)募集活動 300 名リスト化
2019 年 11 月		・デポー最終構想(案)完成
2019 年 12 月	・デポー最終構想(案)承認(12 月度越谷いちご支部) ・デポー最終構想(案)提案 (12 月理事会)	
2020 年 1~2 月	・説明会への協力	・デポー最終構想について説明会実施 ・メンバーや生活館利用者への説明
2020 年 3 月	・デポー最終構想の承認(越谷いちご支部大会)	・支部大会承認をもってデポー建設委員会を発足⇒建設活動スタート
2020 年 4 月～ 2020 年 12 月	・支部運営委員会にて進捗状況を確認。(毎月) ・建設委員会とともに拡大活動をすすめる。	・物件探し、物件選考、店舗デザインへ参画 ・地域の組合員へデポーを周知し、デポーわくわく隊を増やす ・紹介者を増やし、「結」の組合員を増やす(将来の組合員を増やす) ・地域へ生活クラブ及びデポーの周知をすすめる ・デポー運営基盤やフローワーカーズの主体形成をすすめる。 ・物件決定後、1000 名の拡大活動に取り組む。(戸別訪問、キャラバン他)
2021 年 6 月		デポー越谷(仮)オープン！！

"越谷にデパートをつくろう!" アシケート

デパートがこんなところにあるといいです

- ・駅近く それが無理ならバス停の近く、不便なところには行けません。
- ・駅近くで徒歩で行けるといいです。

・駐車場がほしい。

デパートにあるもの

- ・組合員スペースがあるといいです
ex) 調理実習

- ・子育て講座
- ・丁ハウス
- ・福祉の視点の機能
- ・体操
- ・同世代の組合員のお友だちがほしいです。
- ・赤ちゃんを抱っこさせてほしい
- ・交流の場

- ・お買物中、子どもを少し見ていっていただけたら
- ・手作り、季節の手仕事(梅のこ、味噌)の講座と、その消費材料がすぐ購入できる
- ・競争交換スペース

- ・Rビン回収
- ・バリアフリーの建物
- ・多機能型トイレ

デパートにある消費材料

- ・一般に販売されている食品と消費材料との違いをアピールするコーナー → 生産者がどんなふうに作っているか
- ・消費材料を使ったおすすめレシピ 育てているかわかるパネル
ex) 1 week の南木立て 料理アイデアコンテスト
・栄養バランスのグラフ・表記 "この消費材料で作ったよ!"
- ・簡単な料理を紹介してくれるコーナー
- ・夕方のヒント
- ・レシピと試食
- ・全国のワーカーズの農産物加工品(梅干し・ジャムなど)が期間限定で買える
- ・消費材料で作ったお惣菜があるといいです
- ・新鮮な魚やお魚コーナー さばいてもらえる
- ・化粧品、ヘナ、石けんなど 実際見たり、つたり臭ったりできてる。(使い方の説明や実演がある)
- ・アロマオイルも。
- ・ワインやアルコールの試飲、飲みくらべ

みんなの声 316枚回収

4/16・5/17 しめきり2回配布
越谷ブロック内 組合員数 3836名

他の声

- ・車両ランチ
- ・足湯ができる スペース
- ・消費材料を使った コーヒー、ケーキを出す カフェスペース
- ・経験者の方から の意見として "イートインスペースは必要ない" の声

デパートにある機能

- ・情報交換
 - ・使わなくて困ったけどまだ使えるものの おゆすりコーナー
ex) 制服 学用品 赤ちゃんのもの などなど
 - ・予約して車でついでに来れるシステム
 - ・一般の人も来ることができるシステム
 - ・電子マネー、クレジット決済ができるシステム
 - ・ホーリーがためられる
- 他の声
- ・あれもしたい
これもしたいと欲張りすぎず、良い消費材料を組合員以外の方に届けたいとき購入していくだくようにと思いま。